CBDCA+PTX療法

（カルボプラチン　パクリタキセル）

＊点滴薬（カルボプラチン＋パクリタキセル）を使う治療法です。
＊3～4週間を1コースとして以下の治療を繰り返します。
＊1日目にカルボプラチン、パクリタキセルを点滴します。
＊体表面積は身長と体重から計算されます。

＜1コース = 3～4週間＞

カルボプラチン点滴
（5～6AUC）
※腎機能に応じて量を調節します

パクリタキセル点滴
（200mg×体表面積）

川崎市立多摩病院　化学療法運営委員会
薬剤部

点滴　1日目

＜メイン＞

① 血管ルート確保

生理食塩液の点滴をします

＜側管＞

② 30分 ➡ ③ 15分 ➡ ④ 30分 ➡ ⑤ 3時間 ➡ ⑥ 1時間 ➡ 終了

お薬による吐き気を予防する薬が混ざっています。
・ホスアプレピタント

お薬によるアレルギーや吐き気を予防する薬が混ざっています。
・グラニセトロン
・デキサート®
・ファモチジン
・ポララミン®

パクリタキセルが混ざっています

カルボプラチンが混ざっています

飲み薬　2～4日目

デカドロン®錠4mg
（吐き気止め）

1回1個　1日2回　朝・昼食後に服用

（ 重要な注意 ）

パクリタキセル点滴にはアルコールが含まれています。

また、アレルギー予防の薬（ポララミン®）により眠気やふらつきが起こることがあります。 車の運転や危険を伴う作業は避けてください。

投与後、アルコールの症状が治まるまでは安静にしてください。